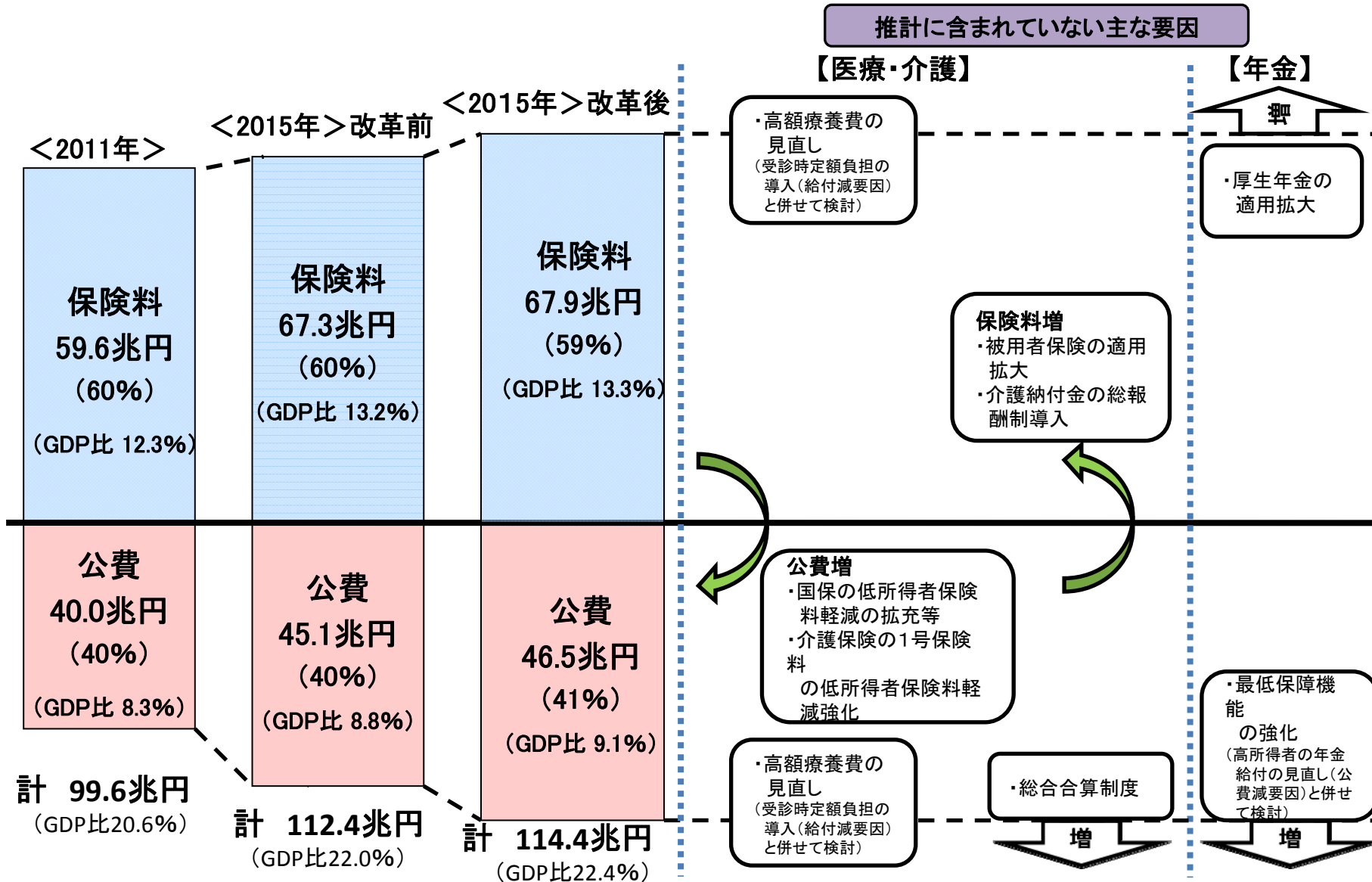


社会保障に係る費用の負担の見通し



注1: 棒グラフ中の数字は、「社会保障改革の具体策、工程及び費用試算」を踏まえ、充実と重点化・効率化の効果を反映している。
 (ただし、「Ⅱ 医療介護等 ②保険者機能の強化を通じた医療・介護保険制度のセーフティネット機能の強化・給付の重点化、逆進性対策」および「Ⅲ 年金」の効果は、反映していない。)

注2: 負担額は、年金において積立金を活用して、給付をまかなっているため、給付額と一致しない。
 (対応する給付額は108.1兆円(2011年)、119.9兆円(2015年、改革前)、121.9兆(2015年、改革後)である。)